

クローズアップ



建物外観

中京テレビ放送株式会社本社ビル

伊藤 武

(Takeshi Ito)

東芝エレベーター株式会社
中部支社 建設部

1. はじめに

「中京テレビ放送」は、日本テレビ放送網をキー局とする東海3県をエリアとした放送局です。築40年が経過した現社屋の老朽化により名古屋駅南部の大規模開発エリアである「ささしまライブ24地区」に新社屋を建設しました。新社屋の規模は、地上12階（地上11階、塔屋1階）、高さ59.90m（電波塔高さ約145m）であり、2016年秋の開業に向けて、現在放送設備等の準備工事が行われています。

新たに建設された新社屋は、東日本大震災の教訓を生かし災害時でも報道機関としての責務を果たせるような様々な防災対策が施されています。津波や高潮での浸水に備えて敷地を嵩上げしており、地震対策としては名古屋の放送局では初の免震構造を採用しています。また、災害による停電時には7日間の連続運転が可能な非常用発電機を屋上に備えています。

2. 建物概要

所在地：愛知県名古屋市中村区平池町4（名古屋都市計画事業ささしまライブ24地区区画整理事業仮換地）

建築主：中京テレビ放送株式会社
設計監理：伊藤・日建設計監理共同企業体
施工：株式会社 大林組

建物用途：放送局
敷地面積：7,120.52㎡
建築面積：4,294.14㎡
延床面積：29,795.47㎡

構造：鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
階床数：地上12階（地上11階、塔屋1階）
建屋高、軒高：59.90m（電波塔高さ約145m）
工期：2013年10月～2015年11月
竣工日：2015年11月30日
開業日：2016年秋予定

3. 昇降機設備

新社屋にはエレベーター7台が設置されています。建屋の北面に配置された展望用エレベーター3台のかご室は、白及びシルバーで統一されたシャープなデザインです。側面後方及び背面の3面に大きな展望窓が設けてあり、名古屋駅周辺の高層ビル群を一望することができます。また、3階から11階のエレベーターホールはガラス壁で構成されており、「見せるエレベーター」を意識して用品製作及び現地施工を行いました。釣合おもりや乗場ボタン用配線材に化粧カバー等の美観対策を施しています。シンボリックな電波塔の下で昇降する展望用エレベーターのかご外装パネルは飾らない直線的なデザインで建物と同化し、新社屋の美しい外観演出の一翼を担っています。

展望用エレベーター以外には、出演者や放送関係者を含むスタッフ専用の人荷用兼非常用エレベーターを2台、スタジオセット・機材搬出入用の荷物用エレベーター1台を設置されています。また、1階舞台裏スペースにアプローチするバックヤードの乗用エレベーターが1台設置されています。

クローズアップ



1～3号機 エレベーターシャフト外観



1～3号機 1階エレベーターホール



1～3号機 11階エレベーターホール



1～3号機 エレベーターかご室

エレベーター仕様 (計7台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1150	17	150	1	11 (1～11)	東芝	展望用、車いす仕様
2	〃	〃		1150	17	150	1	11 (1～11)		展望用
3	〃	〃		1150	17	150	1	11 (1～11)		展望用
4	〃	〃	乗合全自動方式	1000	15	45	1	2 (1, M1)		
5	人荷用	〃	〃	1150	17	120	1	12 (1～11, PH)	三菱	非常用
6	〃	〃	〃	1150	17	120	1	11 (1～11)		非常用
7	荷物用	〃	単式自動方式	5000	-	45	1	8 (1～8)	ダイコー	